



「学びの入り口として」

木更津市立祇園小学校校長 ふくなか 福中 よしひろ 義宏



「千葉教育」に目を通されている方々には今更言うまでもないことではあるが、ここには千葉県の教育の情報が多様に掲載されている。教育関係者だけではなく、教育以外の分野の方の記事もある。自分の興味・関心にマッチすること、読んで課題解決のヒントになること、新しい疑問や課題が浮かんでくること、もっと知りたくなることがある。

学び続けていくことが大切な私たちにとって、「千葉教育」は興味・関心を持っていることだけでなく、幅広い情報、知識を得て、学びの材料を獲得する、その入り口の役割を果たしてくれているのだ、と思っている。タイムリーな話題、すべての学校種での実践、様々な立場の方からの視点等が掲載されており、記事の内容に触れることを契機にして、自身の学びの方向性の一つに加えてみたり、執筆者、実践者に問い合わせてみたりすることで、自分の深い学びへとつながると考えている。

平成28年度以降に発行されたものから、「千葉教育」は、「千葉県総合教育センター Web サイト」で記事をすべて読むことができるように整備されている。冊子としての良さ、興味・関心の湧いた記事をデータとして取り入れる利便性も整っている「千葉教育」を今後も活用したいと思う。



「新任教頭研修」を受講して

大網白里市立白里小学校教頭 よしだ 吉田 かずよ 和代



私は昨年度「新任教頭研修」を受講した。長引くコロナ禍にあり、3回の研修のうち2回はWeb配信で、1回は総合教育センターで班別協議と講義であった。

Web配信の研修では、千葉県の教育施策や学校の危機管理などについて、教頭として必要な知識や情報を得ることができた。自分のわからないところを見直したり、聞き直したりすることで理解を深めることができ、自分のペースで研修を進めることができた。また、Web配信での研修が2回実施されたことで、会場までの移動時間が必要なくなり、その時間を学校での業務に充てることができたことも大変ありがたいと感じた。

総合教育センターでの研修では、「学校における働き方改革に向けた取組と課題」について班別協議を行った。他の学校や他の地域の働き方改革に向けた取組事例を聞き、自校の取組や課題と合わせながら、様々な視点から考えることができた。今後、働き方改革を実践していく上でのヒントをたくさん得ることができ、大変、貴重な機会となった。

教頭職に就き1年半が過ぎ、改めて学校運営の難しさを実感している。この研修で学んだことを生かし、校長の指導の下、学校の組織的な教育活動を充実させ、子供たちの豊かな学校生活の保障に努めるとともに、「安全・安心な学校づくり」、そして「家庭・地域から信頼される学校づくり」に尽力する所存である。